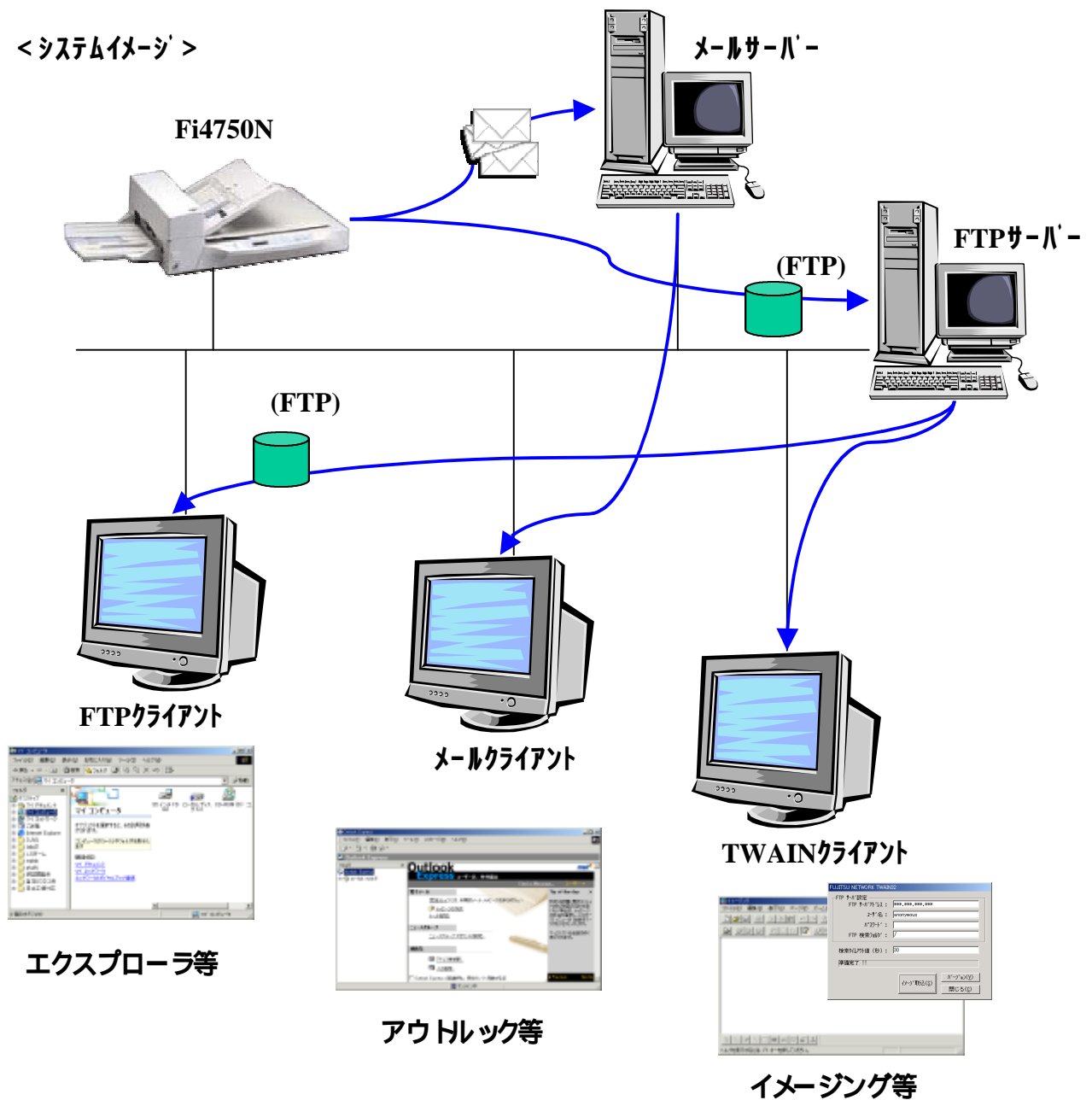


# Fi4750N 初期導入について

## 動作概要

Fi4750Nはネットワークに直接接続され、各種サーバへ向けてスキャンングデータを配信する機能を搭載した装置です。

<システムイメージ>

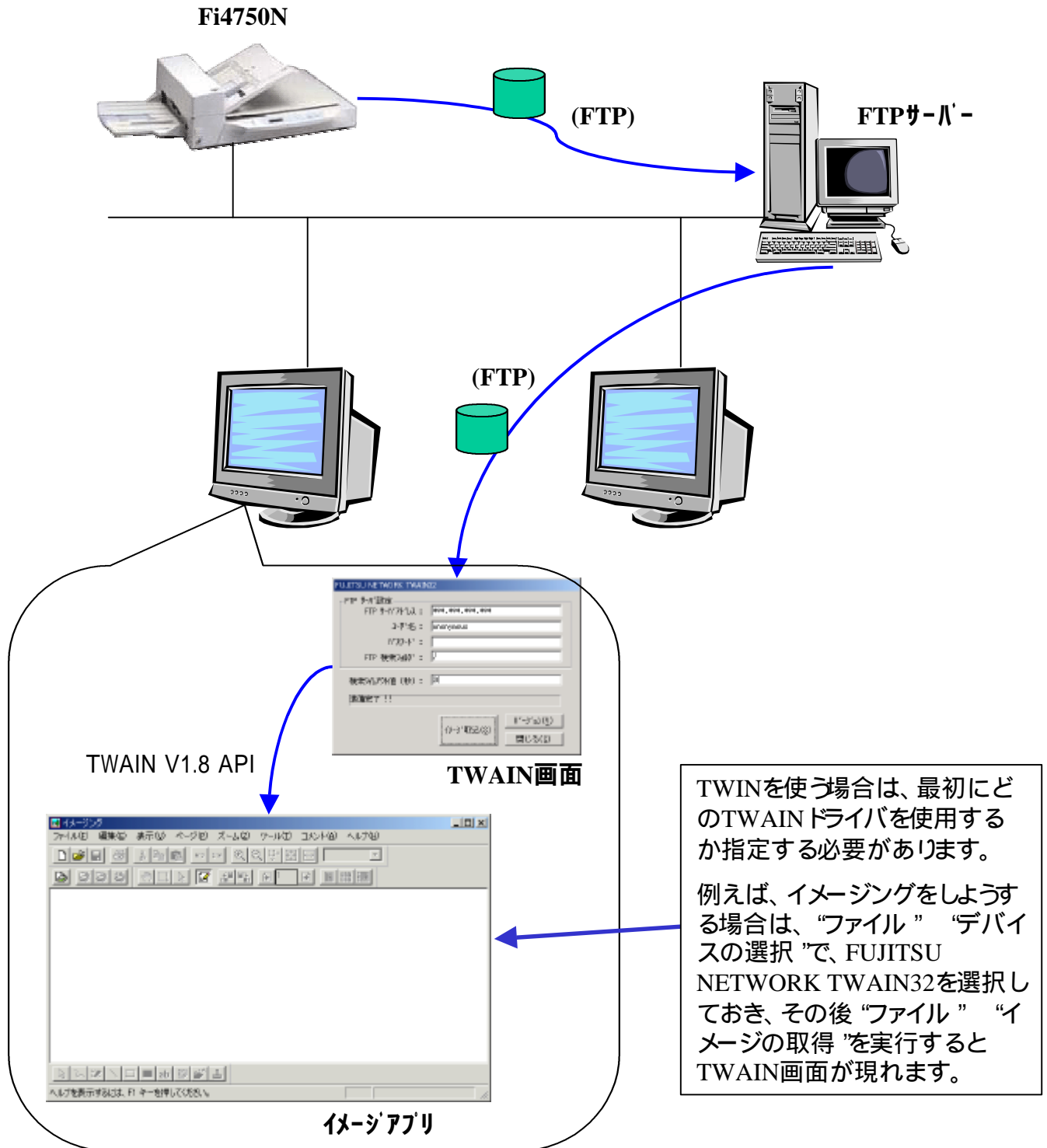


# Fi4750N NetworkTWAINについて

## 動作概要

ネットワークに直結されたFi4750Nスキャナから、FTPサーバー経由で各処理端末 (PC)へイメージデータを取り込む際、TWAIN-API経由でアプリケーションヘッダを取り込むためのコンバータです。SCSI インタフェース等で接続された従来スキャナと異なり、読み取りに関するスキャン設定はTWAIN画面からは行わず、ブラウザを使って装置にプリセットする方式です。以降、定型的なスキャン業務は装置での1ボタンオペレーションにて行えるようになります。

## <システムイメージ>



## 設定

TWAINでの運用にあたっては、2つの設定が必要です。

装置側スキャニング設定 / FTP送信設定

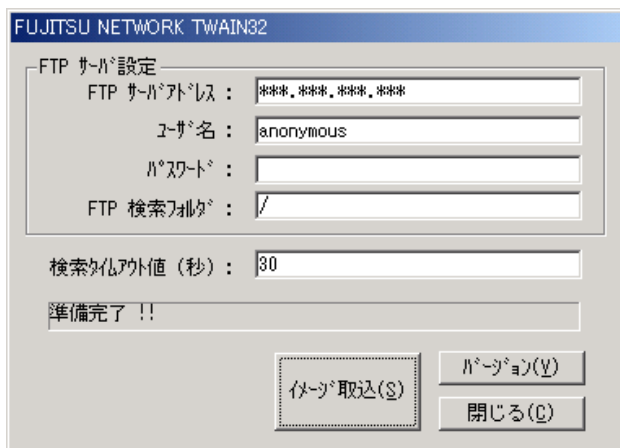
Network-TWAINドライバのFTP設定

装置側スキャニング設定 / FTP送信設定に関しては、装置添付設定マニュアルを参照ください。TWAINを使う際には、FTPサーバを設立し、FTP送信Jobを作成する必要があります。以下のTWAINで設定する内容は、TWAIN使用時に経由するFTPサーバの設定となります。装置への、ブラウザ経由の設定におけるFTPサーバ設定と、以下のTWAIN画面上の設定は同一である必要があります。

### TWAIN画面設定

設定が必要な個所は4ヶ所あります。

1. このTWAINドライバがデータを取りに行くFTPサーバのIPアドレス。
2. FTPサーバへのログイン名
3. FTPサーバへのログインパスワード
4. FTPサーバのデータ格納エリア



5つめの検索タイムアウト時間設定はデフォルト30秒となっています。

本システム (TWAINドライバ) は、起動 (取り込み起動) されると一定時間内、指定されたフォルダ内にFi4750Nから生成されるイメージファイルを監視し、検出されたものをイメージアプリケーションへ渡します。このタイムアウト時間は待ち合わせる時間を指定します。ファイルを検出しても、指定時間内は終了しませんので、スキャンが完全に終了した後にしかTWAINによるイメージ取り込みを行わないのであれば、0秒 (最小値) としてください。

## 装置Job設定画面

Job種類は、TWAIN時は必ず「FTP」にして下さい。

## TWAIN画面

TWAINドライバを使用  
「する」にしてください。

この枠の中は同一の  
内容を入れてください。